

建設の機械化

1992.8

No.510



◆巻頭言 豊かな水の流れ……………	岡崎 忠 郎	1
クリーンカプセル下水処理場の建設——島根県鹿島町恵曇処理場—— ……………	松浦 昭夫・三水 恒義	3
調整池上における人工地盤構築工事——STEP工法による杭打工事—— ……………	榊 豊和・三好 弘高・高部 良二	11
トンネル施工における吹付コンクリート・トータル管理システムの概要 ……………	村上 隆生・山崎 邦晃	20
◆JCMA 第43回海外建設機械化視察団報告 バウマ'92ほか……………	中井 恵一・中村 良寛	25

グラビヤ——ハノーバーメッセ92そしてBAUMA 92を見る

◆ずいそう ウォーキングの勧め……………	川嶋 賢一	32
◆ずいそう 除雪作業の時短と労働環境改善を……………	跡地 幸進	34
追想 加藤三重次名誉会長(4)……………	中野 俊次	36
◆平成3年度官公庁・建設業界で採用した新機種 建設業界(その1)……………	石川 元次郎	38
平成3年の建設機械新機種とその傾向……………	杉山 庸夫	61
第43回通常総会開催……………		74
◆平成4年度社団法人日本建設機械化協会会長賞・準会長賞 小口径管推進工法における共通ファジイコントローラの開発……………		86
トンネル断面自動マーキングシステムの開発……………		87
コンクリートポンプ車、無線操作装置の開発と実用化……………		89
◆建設機械化技術・技術審査証明報告 自走式コンクリート打継面処理機「KAME」(間組・日進ジェット工業)……………		92
歩道用小型除雪機(KSS 22 SD II形ハンドガイド式ロータリ除雪機; KSS 30 SD II形ハンドガイド式ロータリ除雪機)(小松ゼノア)……………		94



平成4年度1級・2級 建設機械施工技術検定学科試験問題（その1）……………試験部会	97
◆新工法紹介 05-31 高含水残土固化処理システム（改良型）/ 05-32 クェム工法（環境改善型埋立工法）/08-25 浚渫ロボット /11-23 ダンプ運行管理システム……………調査部会	110
◆文献調査 ハンドリング高さ4.4mの能力を持つミニハンドラ/ 米国建設業界が直面する国際競争力の改善課題/シカゴ大深度ト ンネル計画における発破禁止仕様の影響/新開発のトップハンマ 式発破孔ドリルシステム……………文献調査委員会	114
◆整備技術 移動式クレーンの安全装置の構造と整備について……………整備部会	117
◆建設機械化研究所抄報<150> ROPS 静載荷試験 FOPS に対する重錘落下試験……………建設機械化研究所	123
◆統 計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………調査部会	129
行事一覧……………	130
編集後記……………（橋元・杉本）	134

◇表紙写真説明◇

ポタン 水平ジブ式タワークレーン
TOPKIT F15/26C (F15/60C)
伊藤忠建機株式会社

ポタン社 (POTAIN) は年間生産台数3,000基を超すフランスの誇る世界最大のタワークレーンメーカーである。本モデルは、次のような特長を有し平成元年秋の導入以来、日本国内ですでに60現場以上で稼働し、好評を博している。主な仕様は次のとおりである。
①広い作業範囲：作業半径50mは量産クレーンでは国内で最大である。

- ②高い自立：自立高が52m以下なら壁つなぎが不要である。
- ③組立・クライミング：すべてピン接合方式で面倒なトルク管理の必要がなく、安全性も万全である。
- ④操作性：巻上・横行・旋回すべてにわたり国産機種種の1.5倍以上の速度があり、その作業効率は抜群である。

◀主な仕様▶

最大荷重……………	F15/26C：2.66t, F15/60C：6t
作業半径……………	30m（ジブ先端荷重：2.66t/2.6t）
	40m（ジブ先端荷重：2.0t/1.8t）
	50m（ジブ先端荷重：1.5t/1.3t）
最高自立高……………	52m（揚程：49.9m）